

自彊前進

題字 西村直子

NO. 1 令和5年4月7日(金)
新潟大学附属新潟中学校 学校だより

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

はげましのことば

今年例年になく、温かな三月だったためか、校地内の桜が三月末には開花いたしました。しかしながら、桜がピークを過ぎていたとしても、校舎前には桜の木々と共に、附属新潟中学校を象徴する樹木である「くすのき」が雄々しく茂っています。このくすのきは、今の西大畑校舎に移転する前の、旭町校舎の時代から附属新潟中学校の校地内に植わっていた由緒ある大樹です。今からちょうど三〇年前の平成五年、現西大畑校舎に移転した際、くすのきも植え替えをし、今に至ります。そのくすのきが、新入生の皆さんを温かく見守っています。

この佳き日に入学した一九名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日の入学式は、当校の二・三年生が心を込めて会場設営をいたしました。先輩方も、皆さんの入学を心待ちにしていました。私を含め、教職員一同も、同様に皆さんに会えるのを心待ちにしていました。また、ご多用のなか、臨席賜りました附属学校部統括長 笠井直美様、令和五年度 父母教師会会長 内山航様、令和五年度 教育振興会会長 山本修様、本日はまことにありがとうございます。そして、義務教育期間最後の三年間を、迎えられた保護者の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。

さて、皆さんは、自ら選択して当校へ入学しました。今、皆さんは大いなる希望と夢、そして若干の緊張と不安を心に今、ここにいると思います。これからの三年間の中学校生活を充実させるために、二つの大切なことを述べます。

一つ目は、学びについてです。当校の授業は、仲間との学び合いがとても重要です。自分自身の考えをしっかりとつとと共に、仲間と互いの考えを交流させることで、新たな気付きを得たり、自分の考えをブラッシュアップさせたりして力を付けていきます。自ら積極的に仲間と学び合っていきましょう。

二つ目は、仲間と共に課題解決していくことです。これからの社会は、不透明で複雑化していき、自分一人の力で生きていくことはできません。正解も必ずしも一つではありませんし、万人に受け入れられる正解はないこともあり得ます。であるからこそ、仲間としっかりコミュニケーションを取り、協働し、助け合いながら課題を解決し、最適解を見付けだしていく力が何よりも求められます。日常の学校生活の中で、是非そういう力を仲間と共に身に付けていってください。

私たち教職員は、そういう皆さんを全力で応援します。

そして、当校の教育目標である「生き方を求めて学ぶ生徒」を目指し、責任ある行動をとり、成長してほしいと思います。

新入生の皆さんが、毎日笑顔で、楽しい中学校生活を送ることができることを願って、はげましのことばといたします。

令和五年四月七日
新潟大学附属新潟中学校
校長 山本 達也